



真冬の巣箱 山の手倶楽部 坪井孝二氏

資料篇

桂坂学区〔西京区〕の年表

1983—1999

〔註〕桂坂学区の団体、施設などの会議やイベントは、1999年だけは実施されたもののうち主なものを記載して、年間の行事が概観できるように配慮しました。

西 暦	内閣総理大臣	京都市長	桂 坂 〔 西 京 区 〕	京都市・国内	世 界
1983 昭和58	中曽根康弘	今川正彦	西部都市開発ニュータウン（西京桂坂）の起工式造成開始（7）		
1984			国民年金会館（エミナス）オープン（4）	平均寿命男女とも世界一（男74.2歳、女79.78歳）	
1985			「桂坂」〈建築協定——一人協定の下に〉順次販売開始（11）	男女雇用機会均等法成立（5）	
1986			「桂坂」入居開始（4） 新新小学校に国道9号線を横断して通学開始 洛西福祉会の設立（7）西養護学校・特養老人ホームの設置 市バス桂坂センターまで開通（10）	社会党委員長に土井たか子氏就任（9）	ソ連、チェルノブイリ原発事故（4）
1987			9号線自動車専用道路の完成 洛西福祉会「杏掛寮」開設（4） 洛西総合庁舎開庁（4） 「日文研」創設（洛西センタービル内に仮事務所）（5） 西友桂坂店オープン（6） 夏祭り〈西洋環境主催〉（8） 桂坂文化フォーラム'87（9） かえで自治会設立総会（10）	京阪三条まで地下化 国鉄分割民営化、JR11社発足（4） 利根川進、ノーベル医学生理学賞授賞（12）	世界の人口50億人突破（7） ブラック・マンデーNY株式市場大暴落（10）
11	竹下 登				
1988			老ノ坂バイパス開通（2） かえで自治会発足（4） しらかば自治会発足（5） かえで自治会クリーン大作戦（6） 小・中学校設立準備委員会発足（6） かえで自治会「夏祭り」（8） さつき自治会設立準備委員会発足（11）	マル優廃止（4） 瀬戸大橋開通（4） 京都国体開幕（9） 第2外環状ルート案発表（9） リクルート疑惑が問題となる（10）	イラン・イラク戦争（8） ソウル五輪（9/17～10/2）
1989 平成元年			大枝小から分離桂坂小学校開校（4） 樫原中から分離大枝中学校開校（4） 授産園・療護園の開園（4） さつき自治会発足（4） 自治連合会設立準備委員会発足（4） 洛西河川を美しくする会発足（6） 桂坂自治連合会大石洛西支所長等の出席のもと発足合意（7） 湯浅忍氏自治連合会長に就任（8） 桂坂自治連合会「発足届」（8） あかしあ自治会発足（11）	昭和天皇没（87）、明仁親王即位（1） 平成元年スタート（1） 消費税スタート（4） 参院選自民大敗、与野党逆転（7） 弥生時代の大環濠集落、佐賀県吉野ケ里遺跡が注目を集める（3） 衛星放送、本放送を開始（6） 坂本弁護士一家失踪拉至疑惑で公開捜査（11）	中国、天安門事件（6） ベルリンの壁崩壊（11）
6	宇野宗佑				
8	海部俊樹				
1990		田辺朋之 8/30	第1回生産展〔授産園〕（3） ひいらぎ自治会発足（4） 洛西福祉会「デイサービスセンター」開設（5） 京都交通桂坂乗入れ（5）京都市バス桂坂小学校前まで（5） 第1回桂坂自治連合会総会（5） 「日文研」の施設の一部桂坂に完成（10） 自治連合会・西京保健所・衛生局環境保全局による「生活騒音に関する意識調査」（第1回）（10/20～11/10） 洛西ふれあい祭（桂坂小）（11） 環境騒音等測定（11/13～15） 第1回桂坂統一ふれあいクリーンデー（11） 少年補導委員会発足（12）	大学入試センター試験実施（1） 気象協会、スギ花粉飛散状況予報始める（2） 大阪で花博開幕（4）	独統一（10）
1991			「騒音対策モデル事業に関する調査」（第2回アンケート）（2） 体育振興会発足（2） 「住みよいまち『桂坂』の静かな街づくり宣言」および「モデル事業報告書」の全戸配布（3） ほぶら自治会・つばき自治会発足（4） 野鳥園オープン（5） 第2回桂坂統一ふれあいクリーンデー（5月と11月の第2日曜日に実施を決定） 7自治会の「夏祭り」（8/17・24・25） 行政懇談会（9）体育祭実行委員会第1回区民体育祭（10）	1991年経済白書、いざなぎ景気に並ぶ平成景気と認定（2） 長崎県の雲仙・普賢岳で大規模火砕流発生（6） 株価大幅下落（7） バブル崩壊（'90～'10）	湾岸戦争（1） ソビエト連邦消滅（12） ノーベル平和賞にアウンサン・スーチー氏
11	宮沢喜一				
1992			洛西支所「市民相談室」を「地域振興室」と改称（4） 山の手倶楽部発足（4） 更生園開園（4） 西京社会福祉協議会『陽だまり通信』発行（5） 第2回学区区民体育祭（10）		PKO協力法成立（6） バルセロナ五輪（7～8） スペースシャトル・エンデバーに毛利衛氏（9）
1993			菊池潤治氏自治連合会長に就任（4） はなみずき自治会発足（4） 防犯連絡所を学区内に20ヶ所設置（8） 「オーケストラと遊ぼう」（後の「カザラツカコンサート」）（10） 3者〈住宅生協・西洋環境開発・連合会〉連絡会（10） 西京区と市政懇談会（11） 自主防災会の設立準備に入る（）	冷夏、コメ大凶作（6） 北海道南西沖地震M7.8（7） 非自民連立内閣成立（8）	第42代米大統領にクリントン就任（1） ECの統合市場がスタート（1）
8	細川護熙				
1994			桂坂自主防災会発足（2） 桂坂郵便局開局（3） 空ピンの分別回収のモデル地区に（3） 東桂坂より桂行きのバス運行（3） 京都中央信用金庫桂坂支店開設（4） 桂坂学区女性会発足（5）	松本サリン事件（6） 関西国際空港（大阪・泉州沖）開港（9） 大江健三郎氏ノーベル文学賞授賞（10）	ロサンゼルス地震M6.6（1） ドーバー海峡を結ぶユーロトンネル開通（5） 向井千秋氏、スペースシャトルコロンビア号で宇宙へ（7）
4	羽田 孜				

1994	6	村山富市	桂坂の各種団体長との懇談会〈のちの「桂坂みどり会」〉(5) ふれあい会館開館(6) 統一夏祭り(8) 自主防災会リーダー研修(9) 名月観賞の夕べ(9) 天皇・皇后「日文研」に行幸(11) 第1回自主防災総合訓練(11)	郵便料金値上げ(封書80円、はがき50円)(1) 社会党委員長、村山内閣発足(6)	
1995			業者との3者懇談会(1) けやき自治会発足(3) 桂坂みどり会(6) 桂坂公園誕生(9) 西京区「交通安全のつどい」でパレード(9) 洛西ふれあい祭り(11)	阪神大震災M7.2(1) 東京で地下鉄サリン事件(3) 簡易型携帯電話(PHS)サービス、首都圏等で開始(7)	
1996	1	橋本龍太郎 榎本頼兼	桂坂自主防災会「消防局長賞」を受賞(3) 榎本新京都市長誕生(2) にれのき自治会・さくら自治会発足(4) 桂坂地域女性会(4) 「ゴミ減量」モデル地区に指定(6)	岡山県邑久町で病原性大腸菌O-157検出(6) 薬害エイズ事件でミドリ十字強制捜査(8) 初めての小選挙区比例代表並立制による衆院選、自民党復活(10) たまごっち発売(11)	オリンピック100周年記念大会開会(アトランタ)(7)
1997			桂坂小学校大文字駅伝で3位入賞(1) 桂坂消防団員の募集(2) 洛西支所に福祉事務所を開設(6) 西洋環境開発建設大臣表彰(6) 桂坂保育所・児童館の建設ワークショップ方式で(6) もみのき自治会発足(6) 「府環境保全功労者」としてかえで自治会・あかしあ自治会表彰(6) 大枝消防分団桂坂班発足(8) 統一夏祭り〈O157問題に因り自粛傾向〉(8) 西京ゆめフェスティバル(10) ふれあいの里に消防互助会発足(11)	茨城県東海村動燃再処理工場で爆発事故(3) 消費税5%に引き上げ(4) 温暖化防止京都会議(12) 介護保険法成立(12)	香港返還(7) ダイアナ妃事故死(8) マザーテレサ(9)
1998	7	小瀬恵三	桂坂小学校大文字駅伝で2年連続3位入賞(2) 桂坂自主防災会に「市長賞」(3) 大枝交番業務開始(3) 落成式(4) 市民憲章の推進団体として桂坂自治連合会・つばき自治会・ひいらぎ自治会の3団体表彰(6) 桂坂自治会館・消防器具庫地鎮祭(6) 桂坂消防分団大枝分団より独立(10) 大枝中学校開校10周年記念式典(11) 桂坂(小学校東側)に初めての信号機(11) 桂坂自治会館・消防器具庫新築落成(12) 沓掛寮内科診療所を拡充(12)	三角縁神獣鏡大量出土、奈良黒塚古墳(1) 長野冬季五輪最多の72ヶ国・地域が参加(2) パラリンピック(3)明石海峡大橋開通(4) 失業率、初の4%突破(5) 参院選で自民惨敗。小淵内閣発足・毒入りカレー事件発生、4人死亡(7) 夏の甲子園で京都成章横浜高校に破れ準優勝(8) 橋本首相辞任(7) 中教審学校の裁量権を認める(9) 消費税還元セール、全国に広がる(11)	インド・パキスタン相継いで核実験、「核有国」宣言(5)
1999			桂坂小学校大文字駅伝で準優勝(2) かえで自主防災部市長表彰(3) 桂坂小学校にコンピュータ等寄贈(桂坂10周年記念事業として)(3) 桂坂自治会館・消防器具庫一般公開(3) 自治会館に掲げる榎本市長揮毫の扁額『楽在人和』除幕式(3) くすのき自治会発足(3) 9号線沓掛町に感應式信号機を設置(3) 桂坂保育所・児童館〈かざらっこ〉竣工式(3) 自治会館使用開始(4) 桂坂小学校校庭に夜間照明設備点灯式(4) 西京消防分団山林火災防衛訓練〈大枝山町1番251の山林にて〉(4) 第18回統一ふれあいクリーンデー(5) 第7回桂坂みどり会(5) ふれあい会館第1回フェスタ 授産園・更生園第5回陶芸祭(5/22・23) けやき自治会西京区の市民憲章推進者として表彰(5) 防犯推進委員協議会など御陵坂ローリング族のパトロール(6) 地域女性会使用済み食用油の回収開始〈月の第3土曜〉(6) 少年補導委員会サマーキャンプ〈青葉山麓公園グリーンスポーツセンターキャンプ場〉(7/31・8/1) ロータリーに横断歩道(8) 療養園夏祭り(8) 献血会(8) 桂坂統一夏祭り(8) 創立10周年記念事業実行委員会〈ふれあい会館〉(8) 桂坂小学校に「ふれあいサロン」開設(9) 桂坂の道路に4ヶ所、「桂坂中央通り」「桂坂南本通り」「桂坂北本通り」「桂坂西通り」の標識設置(9) 交通安全推進協議会10周年記念事業の一環として「高齢者ドライバー研修会」開催(9) 第9回〈学区創立10周年記念〉桂坂学区民体育祭(10/11)・前夜祭〈聖火リレー〉(10/10) 学区創立10周年記念合同作品展〈桂坂山の手倶楽部・地域女性会〉(10/16・17) 学区創立10周年記念式典・中路融人画伯『松籟』除幕式(桂坂小学校に寄贈)・「ふれあい会」(10/24) 第6回自主防災総合訓練(11) 桂坂小学校創立10周年記念式典(11/12) 第7回カザラックコンサート・同窓会(11/13) 地下鉄東西線の西伸ルートに桂坂駅を設置する請願書提出(11) 第19回統一ふれあいクリーンデー(11) 行政懇談会(11)	国内初、脳死臓器移植が実施される(3) 東京都知事に石原慎太郎氏、大阪府知事に横山ノック氏当選(4) 佐渡の保護センターでトキ誕生名は「優優」(5) 東海村の核燃料工場JCOで臨界事故発生(9) 被曝の社員入院先で死亡(12)	EUの単一通貨「ユーロ」誕生(1)
2000		榎本頼兼	桂坂教育後援会設立(1) 桂坂教育後援会会員募集(2/13~20)	京都市長選挙で榎本現市長再選(2)	コンピュータ「2000年問題」大きな混乱なし(1)

桂坂小学校観測所
『気象観測報告』

桂坂小学校観測所
気象観測報告

第2報

1989年4月～8月
『桂坂の自然について』
発行所不明

桂坂小学校科学クラブ

この観測所は桂坂小学校内にあり、開校間もない1989（平成元）年9月より観測が始められました。

観測は、寺尾公教諭の指導のもと科学委員会の児童によって毎日1回（日・祝日は除く）朝9時30分に行われ、気温・湿度は自記温・湿度計の3・9・15・21時の平均をとり、地中温度は地下1mを9時30分に観測したものです。この結果は、1989年9月より1993（平成5）年12月までの観測データ・報告として6回にわたり冊子で公にされました。

校舎西側に設置された百葉箱と観測機器（乾湿計・最高温度計・最低温度計・自記温度計・自記湿度計・アネロイド気圧計・毛髪湿度計・地中温度計）はPTAの援助によるものです。

次の「報告」（抜粋）は、この科学委員会の児童が約4年にわたって「桂坂の自然」を観測したデータであり、クラブ活動の貴重な記録でもあります。学区創立10年の記念にこの「貴重な記録」を留めておきたいと思います。ただ、スペースの都合で委員名とグラフの一部は割愛せざるをえませんでした。

桂坂の気候

1度寒い！ 桂坂の冬

桂坂は、標高161.53mの高台にあり、北と西以外には山が無く、大変見晴らしが良い。桂坂が高台にあることから、冬は京都市の中心より寒いように思われている。月の平均気温が1番低かった1月のデータをもとに調べてみよう。それぞれ最高気温、最低気温、平均気温を折れ線グラフに表したものである。予想されたように、3つのグラフ [参考]（省略）から桂坂の方が、約1度ずつ京都市中心地より低いことが分かる。特に気温が低いのは、雪の日や雪が降るような天気の日である。

	桂坂	京都市
最高	7.2	8.2
最低	0.4	1.0
平均	3.4	4.4

では、あまり差がない、つまり、京都市内と変わらない天気は、と見ると、晴れの日が多いようである。どうやら桂坂の冬は、晴れの日が市内とあまり変わらないが、雪の日は冷え込む傾向にあるようである。今一つ気温を下げた原因として、「ボラ」現象が考えられるが、この現象は、峠のような山と山の間にはさまれた所を吹き降りて来る時に起こる局地風で、低温・低湿・強風という特徴を持っている。桂坂の地形は、この現象が発生しそうな地形のように思えるのである。

1度低い！ 桂坂の春

4月から6月までの月例平均気温をあげて、京都市中心部と比べてみると、

4月	桂坂……12.3℃	京都……13.8℃
5月	桂坂……17.4℃	京都……18.6℃
6月	桂坂……23.3℃	京都……24.2℃

やはり春の訪れは、京都中心部より遅いといえる。気温の差が約1度低く、桂坂の方が寒くなっている。

1度涼しい！ 桂坂の夏

桂坂の地は、京都中心部より標高にして約100メートルも高い。それに、桂坂の周囲は森林や竹林が多く涼しいのに対し、京都の中心部は建物が密集し、コンクリートの照り返しやアスファルトの熱の蓄積がある上、クーラーからの熱の放出もあって、都会独特の暑さがある。以下の8月のグラフから分かるように、桂坂の方が1度涼しい結果となっている。また、最高気温も最低気温も1度低くなっている。もっと涼しいのではないかと予想していたが、それほどでなかったことから考えると、桂坂の地が日当たりの良い南向きの傾斜地にあるからなのかもしれない。（「8月の平均気温比較」のグラフは省略）

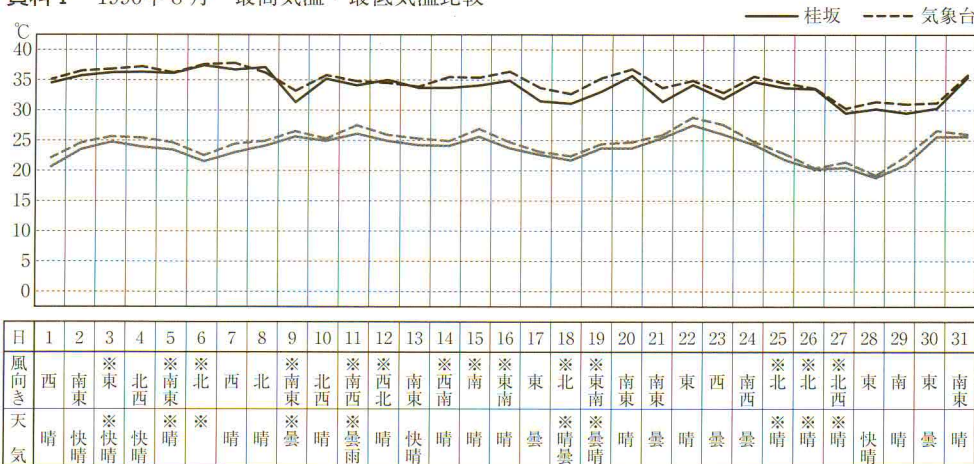
夏の気温の特徴

次に、夏の気温の特徴的な点を探してみよう。次の資料 [I] を見てほしい。最低気温の差が1度ずつ平均してあるのに対して、最高気温の差は比較的变化が大きいといえる。その起因となるものは、天気ではなく、風の影響によるものと考えられる。

それは、桂坂の最高気温の方が2℃から3℃低い14日から21日は南よりの風が吹いているが、気温の差がない6日、12日、26日は、すべて北よりの風が吹いているからである。

桂坂小学校科学委員会『気象観測報告』第2報（1990.9.11）

資料 I 1990年8月 最高気温・最低気温比較



※印は観測していないため、京都地方気象台のデータを使用した。しかし、このような使用は、特に風向について、正しくない。場所が変われば風向も変わるうえ、桂坂の観測方法は一日の中にある一時だけの観測値であるからである。一日の風向の平均した値でなければ、確かなデータとしての使用はできない。

気温の特色と風向との関係

第2報の「今年度の研究テーマ設定理由」で述べたように、桂坂の冬と夏は、北よりの風に影響をよく受けているように思える節がある。それを明らかにするという目的での今年度の研究であった。

桂坂の冬

京都市の中心との気温を比較した下の2月のグラフ（「1991年2月平均気温比較」省略）を見ると、今年の冬も昨年の冬と同じ点で似ていることが分かる。それは平均気温の差が去年は1℃、今年が1.3℃と似ていることはさて置き、桂坂の方が寒い日ほど京都市中心に比べ気温がより低いという傾向である。それらの日の風向について見ると、昨年冬と同様、北よりの風の場合に低いことがなんとか言えるように思う。昨年の冬の場合も、積雪がある日に気温が低くなっていることで納得がいくのである。やはり、〈北よりの風の影響をよく受ける桂坂〉ということが言えるであろう。

1年間(1990年)の桂坂の気温

以下の3つのグラフ（「最高」「最低」気温は省略）が1年間を通して桂坂と京都市中心地とを比較したものである。

年平均気温について見れば、桂坂は15.4℃、京都市中心地が16.3℃であり、桂坂の方が0.9℃低い。これは、第2報とほぼ同じであり、約1度の差があるということがより実証された形である。

季節別にみれば、〈夏は涼しく冬は寒い桂坂〉という気候の特色が出てくるのではないだろうか。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
桂坂	12.3	17.4	23.3	26.7	28.0	24.0	17.3	12.9	6.9	4.2	3.0	8.3
气象台	13.8	18.6	24.2	27.6	29.0	24.7	17.9	13.7	7.7	5.1	4.3	9.4

桂坂小学校科学委員会『気象観測報告』第3報（1991.4.20）

桂坂の湿度

湿度の高い桂坂

桂坂の地は、京都市の郊外、大枝山のすそのにあり、西と北側にはすぐ山が迫っている。桂坂は、山々の森林が近くにある地形であることや、京都市の郊外にあることから、湿度もさまざまな影響を受けているだろうと思われる。

都市部と郊外の湿度の違いについて、『気象2』伊藤博著では、「年平均にすると約6%郊外の方が高い」。その理由として、「都市域では、気温が高いため、郊外と比べてたとえ空気中の水蒸気量が同じでも湿度は低下する。その上、道路が舗装され排水溝が装備される反面、樹木や草地、露出した土壌面が減少するため、降った雨は排水溝に流れ込み、地表面はすぐ乾燥する。植生からの蒸散も少ないので、都市の大気中に含まれる水蒸気量は郊外の田園地域と比べて減少しがちである」。また、森林内の湿度は、「樹木の葉面からの蒸散作用により水蒸気が多く湿度が高い」と述べている。

以上のことから、桂坂は京都市の郊外にあるため、京都市都市部より湿度が高くなっているであろうと思われる。また、多少なりとも、北や西側の山々から水蒸気の影響を受けていることが予想される。

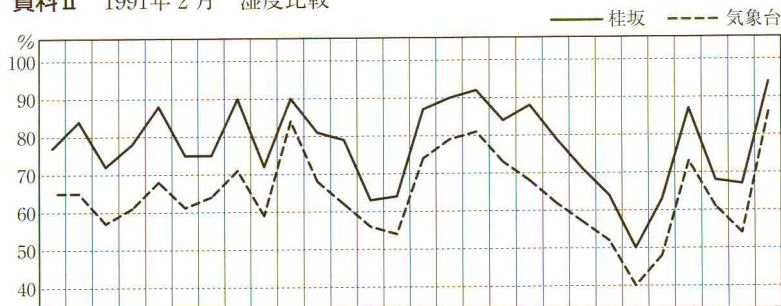
下のグラフ[Ⅲ]は、1991年の桂坂と京都地方气象台のある都市部との、湿度を比較したものである。やはり、郊外にある桂坂の方が湿度が高く、その差は年平均10パーセントであった。

さらに、森林の水蒸気の影響を受けるとすれば、風によって運ばれて来ることだろうと推測し、それをグラフと表にまとめたのが、次のものである。資料[Ⅱ]は、月の湿度差が一番大きい2月をとりあげた。湿度差の少ない雨の日を除いて見ると、北と西寄りの風の日には湿度差が大きく、南寄りの風の日には湿度差が小さいことに気が付く。これはやはり、山の影響、つまり、森林から蒸散した水蒸気を多く含んだ空気が風によって運ばれて来たというふうを考えられるのではないだろうか。これに加えて、北西にある老ノ坂に流れる小畑川からの湿度の影響も考えておきたい。

一般的に、冬は空気が乾燥して火災の危険性が高いと言われる。しかし桂坂は冬も湿度がそれほど低くないということは、乾燥して火災が起こる危険性は都市部よりは低いということである。

桂坂小学校科学委員会『気象観測報告』第4報（1992.2.29）

資料Ⅱ 1991年2月 湿度比較

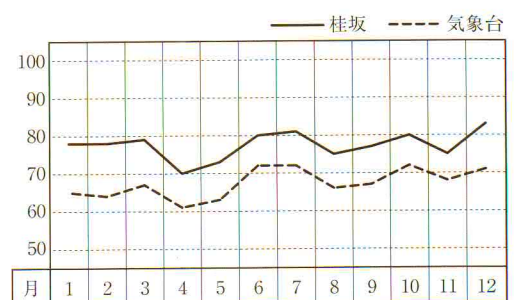


日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
風向	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○
天気	晴	晴	晴	晴	雪	快晴	曇	雨	快晴	・	・	晴	晴	・	曇	雨	・	雪	雪	曇	晴	晴	晴	・	雪	晴	晴	雨

○ 北・西寄りの風 × 南寄りの風

資料Ⅲ 1991年平均湿度の比較

— 桂坂 77% 京都气象台 67%



消防団器具庫・自治会館建設寄付金集計表

企業および篤志家	22,090,000円
自治会	7,211,500円
各種団体	594,000円
合計	29,895,500円

○ 企業および篤志家（敬称略）

株式会社 横綱	6,000,000	イズミヤ株式会社	4,000,000
京都労働者住宅生活協同組合	2,300,000	特殊法人 日本勤労者住宅協会	2,000,000
株式会社 京都住宅サービス	2,000,000	株式会社 今井建設	2,000,000
株式会社 青木建設大阪本店	1,000,000	京都労働金庫	500,000
大林春子	500,000	京都中央信用金庫	300,000
株式会社 セカンド	200,000	積水ハウス株式会社京都支店	100,000
ミサワホーム近畿株式会社京都支店	100,000	京都パナホーム株式会社	100,000
梶田税務会計事務所	100,000	財団法人 日本漢字能力検定協会	100,000
学校法人 洛新精華学園	100,000	エスバイエル株式会社	100,000
株式会社 西電工	100,000	大和ハウス工業株式会社京都支店	100,000
松芝政雄	100,000	京都桂坂郵便局	50,000
株式会社 江戸川	50,000	京都魚国株式会社	30,000
MK株式会社	30,000	株式会社 エヴァグリーン	30,000
宮尾歯科医院	30,000	京都交通株式会社	30,000
株式会社 大成白蟻工業	30,000	株式会社 中央漆器	10,000

○ 桂坂学区自治会

桂坂学区自治連合会本部	535,000	桂坂かえで自治会	882,000
桂坂さつき自治会	736,000	桂坂しらかば自治会	539,000
桂坂はなみずき自治会	523,000	桂坂あかしあ自治会	455,000
桂坂ぼぶら自治会	368,500	桂坂けやき自治会	358,000
桂坂ひいらぎ自治会	737,000	桂坂つばき自治会	630,000
桂坂くすのき自治会	271,000	桂坂にれのき自治会	540,000
桂坂もみのき自治会	386,000	桂坂さくら自治会	251,000

○ 桂坂学区各種団体

桂坂社会福祉協議会・桂坂民生児童委員協議会			171,000
桂坂地域女性会	118,000	桂坂防犯推進委員協議会	114,000
桂坂山の手倶楽部	76,000	桂坂小学校PTA	70,000
桂坂交通安全推進委員会	33,000	桂坂少年補導委員会	12,000

○ 大口寄付者【3口以上】名簿（敬称略）

桂坂学区自治連合会本部							
菊池 潤治	100,000	田畑 昭三	50,000	鈴木 文雄	50,000	加藤 貞雄	50,000
西田 貢	10,000	日比野俊之	10,000	下川喜久雄	10,000	早川 俊英	10,000
谷口 隆史	10,000	大倉登喜子	10,000	石塚 毅	10,000	飯田 章	10,000
桂坂かえで自治会							
岩田久二郎	100,000	佐々谷 潔	10,000	湯浅 仁司	10,000	金岡 秀享	10,000
永江 望昭	10,000						
桂坂さつき自治会							
川上 惇	50,000	長倉 陽一	30,000	道端 進	10,000	佐々木俊一	10,000

坂本 正壽 10,000	鈴木 晃司 10,000	北村 重雄 10,000	寺田 武彦 10,000
細川 和明 10,000	湯浅 保 10,000		
桂坂しらかば自治会			
大森 曠 30,000	谷口 栄一 10,000	日比野重夫 10,000	中井 幸治 10,000
松井 清文 9,000	谷 龍彦 9,000	高橋 敏行 9,000	近藤 二郎 9,000
竹村 繁利 9,000			
桂坂はなみずき自治会			
野田 登 15,000	山岡左知子 10,000		
桂坂あかしあ自治会			
乾 忠義 30,000	基太村博美 20,000	岩本 致二 10,000	青井 勇 10,000
倉田 容 10,000	船越 彰 10,000	宮尾 広一 10,000	板東 成彰 9,000
桂坂けやき自治会			
高木 明 30,000	上塚 正男 10,000	尾崎 裕之 10,000	星原 俊二 9,000
桂坂ひいらぎ自治会			
鈴木 俊佑 10,000	布本和久 10,000	内田順己 10,000	田村禎啓 10,000
桂坂くすのき自治会			
竹本 邦巨 20,000	岡田 啓夫 10,000	佐々 嘉孝 10,000	小林 隆志 10,000
天野 昭 10,000	横山 光弘 10,000	亀川 義弘 9,000	検校 正昭 9,000
石田 哲章 9,000	臼井恵美子 9,000		
桂坂にれのき自治会			
中江 淑 15,000	田中 悟 10,000	河野 昭治 9,000	城下 賢司 9,000
喜多 泰史 9,000			
桂坂もみのき自治会			
大西 健史 30,000	綱島 博 10,000	坂本 全 10,000	池田 良一 10,000
江本 洋 9,000			
桂坂社会福祉協議会・桂坂民生児童委員協議会			
湯浅 忍 50,000	酒井 厚 30,000	林 正信 15,000	平岡 達雄 15,000
山口 朝弘 15,000	木村 明夫 15,000	丸橋 晴代 10,000	
桂坂地域女性会			
中崎千嘉子 10,000	長岡 香 10,000	山田まゆみ 10,000	岡本多美子 10,000
桂坂防犯推進委員協議会			
井上 照雄 12,000	梶間 俊郎 10,000	基太村博美 10,000	加藤 實 10,000
藤井 潔 10,000	中川マスコ 10,000	植村 淳二 10,000	西村 明 10,000
中谷 敏清 10,000	佐橋 能理 10,000	柳 政植 9,000	
桂坂山の手倶楽部			
松本 正二 15,000	立野 和之 10,000	山本 昭 10,000	世木 俊一 10,000
桂坂小学校PTA			
片山 健次 30,000	琴浦 良子 10,000	千頭 宗子 10,000	稲垣 恵子 10,000
高矢 和宏 10,000			

○ 桂坂学区創立10周年記念事業特別寄贈者（敬称略）

日本画『松籟』[100号] 1点
 電子計算機 10台
 電子計算機 2台 ソフトウェア 1式
 漢字教育用ソフトウェア[6種] 90点
 金100,000円

日展理事 画伯 中路 融人
 京都コンピューター学院 学院長 長谷川靖子
 ネクストウェア株式会社 代表取締役 豊田 崇克
 財団法人日本漢字能力検定協会 理事長 大久保 昇
 桂坂体育振興会

自治連合会役員・自治会長・自治連合会委員名簿

役 職	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年
会 長		湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍
会 長 代 行			南部喜八郎	南部喜八郎	
会 長 代 行			米田 和雄	米田 和雄	
副 会 長		米田 和雄	田畑 昭三	菊池 潤治	菊池 潤治
副 会 長		後藤 正幸	大森 曠	大野 和之	岸 隆二
副 会 長			鈴木 章司		
副 会 長			森田 博		
副 会 長			野口 修		
事 務 局 長		松尾 隆夫	松尾 隆夫	松尾 隆夫	安田 克敏
会 計		田邊 尚士	田邊 尚士	田畑 昭三	田畑 昭三
会 計				田邊 尚士	飯田 章
庶 務				藤木 弘	倉橋順一郎
庶 務				中村 博	加藤 貞雄
庶 務					皆本 幹雄
事 務 局 次 長		御石 浩三	森井 博一	森田 啓三	木ノ下勝巳
事 務 局 次 長		南部喜八郎	河合 公平	安田 克敏	石田 晋三
事 務 局 次 長			福村 喜之		
事 務 局 次 長			安田 和正		
事 務 局 次 長			武田 正男		
監 査 役			小林 健一	小林 健一	小林 健一
監 査 役			御石 浩三		田邊 尚士
相 談 役					南部喜八郎

役 職	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年
かえで自治会長 自治連合会委員	湯浅 忍	湯浅 忍 小林 健一	田畑 昭三	田畑 昭三 前川 武宣 橋本 篤也	松尾 隆夫 坂本 雄二
しらかば自治会長 自治連合会委員	浜辺 博	米田 和雄 盛重 登	大森 曠	菊池 潤治 高橋 敏行 谷口 栄一	加藤 貞雄 木村 明夫
さつき自治会長 自治連合会委員		後藤 正幸	南部喜八郎	藤木 弘 越久村真一 鶴蒔 静男	倉橋順一郎 原田 光佑
あかしあ自治会長 自治連合会委員			森田 博	森田 博 森田 博 安田 和正	横山 光広 横山 光広
ひいらぎ自治会長 自治連合会委員			野口 修	立野 和之 石田 昭子 細川 和子	飯田 章 西川 国夫
ぼぶら自治会長 自治連合会委員				中村 博 渥美三十男 内田 賢穂	石田 晋三 島田 健
つばき自治会長 自治連合会委員				安田 克敏 秋山 武久 水野真知子	皆本 幹雄 岡田 寛出
はなみずき自治会長 自治連合会委員					野田 登

役 職	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年
顧問	湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍
会長	菊池 潤治	菊池 潤治	菊池 潤治	菊池 潤治	菊池 潤治	菊池 潤治	菊池 潤治
副会長	飯田 章	田畑 昭三	田畑 昭三	田畑 昭三	田畑 昭三	田畑 昭三	田畑 昭三
副会長	田畑 昭三	若林 実	梶田 博	井上 照雄	川上 惇	細川 和子	石塚 毅
事務局 長	田邊 尚士	基太村博美	基太村博美	基太村博美	基太村博美	鈴木 文雄	鈴木 文雄
会計	野田 登	山田 邦和	田村 禎啓	佐橋 能理	細谷 修三	細谷 修三	細谷 修三
会計		木ノ下勝巳	木ノ下勝巳	日比野俊之	日比野俊之	日比野俊之	日比野俊之
広報				木ノ下勝巳	木ノ下勝巳	木ノ下勝巳	
自治会館 担当							細川 和子
自治会館 担当							山奥由美子
防犯		鹿野 準一	鹿野 準一	梶間 俊郎	梶間 俊郎	梶間 俊郎	梶間 俊郎
防災	山田まゆみ						
防災	佐野正次						
総務	基太村博美	柳原 徹	佐川 公也	西村 明	城下 賢司	平手 謹一	阪本 健
総務					南郷 美紀	五十嵐幸夫	知念 章
庶務		中川 啓三	桃井 修	藤井 潔	池田 一照	青山 俊夫	伊藤 光雄
庶務						木田 孝一	中西 康人
体育	木ノ下勝巳						
社会福祉	南 正元						
環境美化・正副	田中 正次	岸本新兵衛	野田 亨	柳 政植 別所 貞俊	西澤 治雄 中川 章	北川 薫 大林 春子	堤 信彦 森口はつ美
河川美化・正副		稲垣 青児	井上 照雄 河村 隆	植村 惇二 西片 昇	乾 忠義 岡 頼男	近藤 浩之 菅原 正幸	小原 康廣 若山 勝幸
文化普及・正副		奥野 信孝	谷口 隆史	中谷 敏清	中倉 裕史 熊倉 光雄	基太村博美 後藤 昭七	永富 進 須磨 純司
交通災害共済 10周年記念事業				加藤 實			
事務局 次長		鈴木 文雄	鈴木 文雄	鈴木 文雄			
事務局・企画 庶務	吉野 孝	山田まゆみ	山田まゆみ	下川智恵子 早川美登里	下川智恵子 早川美登里	下川智恵子 早川美登里	下川智恵子 早川美登里
議事録	安楽つねみ	日比野俊之	日比野俊之	谷口 和子	谷口 和子	谷口 和子	谷口 和子
資料	西田 貢	西田 貢	西田 貢	西田 貢	西田 貢	小松 悦子	
監査役	加藤 貞雄	加藤 貞雄	加藤 貞雄	加藤 貞雄	植村 淳二	植村 淳二	植村 淳二
監査役	倉橋順一郎	佐野 正次	柳原 徹	柳原 徹	柳原 徹	柳原 徹	柳原 徹
桂坂編集部長 副部長	加藤 貞雄	加藤 貞雄	加藤 貞雄	加藤 貞雄	加藤 貞雄	加藤 貞雄	加藤 貞雄
							井ノ崎重美
かえで自治会長 自治連合会委員	松尾 隆夫 岸 隆二	鹿野 準一 山田まゆみ	鹿野 準一 植村 淳二	植村 淳二 吉田 邦寛	細谷 修三 吉田美和子	細谷 修三 中村 久	阪本 健 中村 久
しらかば自治会長 自治連合会委員	吉野 孝 森田 康代	稲垣 青児 日比野俊之	野田 亨 二枝 誠一	柳 政植 福田耕三郎	池田 一照 小久保 博	北川 薫 由城 和男	堤 信彦 吉井 和子
さつき自治会長 自治連合会委員	安楽つねみ 金沢 巖	奥野 信孝 和泉 春	佐川 公也 河合 正人	西片 昇 大路 繁男	川上 惇 二九 宏和	平手 謹一 田中 聖晃	藤堂 善正 中井 善浩
あかしあ自治会長 自治連合会委員	基太村博美 鈴木 文雄	中川 敬三 神野 直	桃井 修 藤井 修	西村 明 澤岡 清	乾 忠義 中島 章廣	基太村博美 星野 義一	永富 進 采野 邦美
ひいらぎ自治会長 自治連合会委員	佐野 正次 上山 泰弘	岸本新兵衛 井上 章	田村 禎啓 東 武	佐橋 能理 上川 芳実	南郷 美紀 富士 裕加	細川 和子 山奥 文明	石塚 毅 品部 久志
ぼぶら自治会長 自治連合会委員	田中 正治 中嶋 二郎	柳原 徹 浜口 憲一	谷口 隆史 湊 義浩	中谷 敏清 吉田 良二	中倉 勇二 木村 基	後藤 昭七 平山 修児	中谷 敏清 中島 維明
つばき自治会長 自治連合会委員	南 正元 成宮 周	若林 実 笹田 充宏	梶田 博 木村 晋也	加藤 實 藤本 明弘	岡 頼男 岡村 邦彦	近藤 浩之 川本 惠三	若山 勝幸 阪本 幸雄
はなみずき自治会長 自治連合会委員	野田 登 西田 貢	山田 邦和 渡辺 義夫	河村 隆 上田 久美	梶間 俊郎 山本 高義	西沢 治雄 久保多恵子	菅原 正幸 牧原 正実	森口はつ美 高橋 剣
けやき自治会長 自治連合会委員			井上 照雄 河瀬 嘉和	井上 照雄 西上 靖明	熊倉 光雄 榊 信一	大林 春子 高橋 俊樹	中西 康人 梅津 俊広
にれのき自治会長 自治連合会委員				別所 貞俊 田鶴 五郎	城下 賢司 河野 昭治	青山 俊夫 尾崎 安彦	小原 康廣 石田 鋭司
さくら自治会長 自治連合会委員				藤井 潔 中西 敏生	中川 章 平野 淳史	五十嵐幸夫 鈴木 博雄	伊藤 光雄 竹原 範道
もみのき自治会長 自治連合会委員					池田 良一	木田 孝一 網島 博	知念 章 網島 博
くすのき自治会長 自治連合会委員							須磨 純司 検校 正昭

桂坂学区各種団体等役員名簿

団体名		平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年
桂坂市政協力委員連絡協議会	会長	湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍	菊池潤治	菊池潤治	菊池潤治	菊池潤治	菊池潤治	菊池潤治	菊池潤治
桂坂自主防災会	会長						菊池潤治	菊池潤治	菊池潤治	菊池潤治	菊池潤治	菊池潤治
桂坂社会福祉協議会	会長			湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍
桂坂体育振興会	会長		永江望昭	永江望昭	永江望昭	永江望昭	永江望昭	永江望昭	永江望昭	永江望昭	永江望昭	永江望昭
日赤奉仕団桂坂分団	会長		菅谷公恵	菅谷公恵	倉橋順一郎	田畑昭三	田畑昭三	田畑昭三	田畑昭三	田畑昭三	田畑昭三	田畑昭三
共同募金会桂坂分会	分団長		菅谷公恵	菅谷公恵	倉橋順一郎	田畑昭三	田畑昭三	田畑昭三	田畑昭三	田畑昭三	田畑昭三	田畑昭三
桂坂保健協議会・献血会	会長		松尾隆夫	松尾隆夫	松尾隆夫	松尾隆夫	松尾隆夫	松尾隆夫	松尾隆夫	松尾隆夫	松尾隆夫	松尾隆夫
桂坂民生児童委員協議会	総務		湯浅 忍	湯浅 忍	湯浅 忍	酒井 厚	酒井 厚	酒井 厚	酒井 厚	酒井 厚	酒井 厚	酒井 厚
少年補導委員会桂坂支部	支部長		永井裕一	永井裕一	永井裕一	永井裕一	馬江芳雄	馬江芳雄	馬江芳雄	前田富造	前田富造	前田富造
桂坂消防分団	分団長										湯浅仁司	湯浅仁司
桂坂地域女性会	会長						安楽つねみ	安楽つねみ	山田まゆみ	山田まゆみ	中崎千嘉子	中崎千嘉子
桂坂交通安全推進会	会長				森田啓三	森田啓三	森田啓三	森田啓三	新井健之	新井健之	伊藤一男	伊藤一男
桂坂交通安全推進会	婦人部長				古川得津子		戸田晴子	戸田晴子	戸田晴子	戸田晴子	戸田晴子	戸田晴子
桂防犯推進委員協議会	理事								菊池潤治	梶間俊郎 菊池潤治	梶間俊郎 菊池潤治	梶間俊郎 菊池潤治
桂坂防犯委員会	委員長				菊池潤治	菊池潤治	鹿野準一	鹿野準一	梶間俊郎	梶間俊郎	梶間俊郎	梶間俊郎
桂坂文化普及会	会長				田邊尚士	田邊尚士	奥野信孝	谷口隆史	中谷敏清	中倉勇二	基太村博美	永富 進
桂坂環境美化委員会	委員長				田畑昭三	田中正治	岸本新兵衛	野田 亨	柳 政植	西澤治雄	北川 薫	堤 信彦
桂坂山の手倶楽部	会長				立野和之	立野和之	立野和之	立野和之	立野和之	立野和之	立野和之	立野和之
桂坂暴力追放協議会	会長				菊池潤治	菊池潤治	菊池潤治	菊池潤治	菊池潤治	菊池潤治	菊池潤治	菊池潤治
桂坂遺族会	会長					黒川眞佐子	黒川眞佐子					
桂坂小学校PTA	会長		山本哲夫	北川 薫	北川 薫	北川 薫	平手謹一	平手謹一	平手謹一	片山健次	片山健次	片山健次
大枝中学校PTA	会長	奥村正男	基太村博美	廣田博司	福野招三	田原光明	北川 薫	中原 一	大下 猛	高木 工	酒井信一	林 良子
桂坂小学校	校長	中西一孝	中西一孝	中西一孝	中西一孝	中西一孝	寺内敦子	寺内敦子	村田喬子	角垣健美	角垣健美	角垣健美
大枝中学校	校長	佐野幸夫	佐野幸夫	佐野幸夫	山崎嘉久	山崎嘉久	山崎嘉久	村田 泓	村田 泓	朽木長綱	朽木長綱	朽木長綱
西養護学校	校長	永井 實	永井 實	永井 實	浅井正彦	浅井正彦	浅井正彦	浅井正彦	三村 勝	三村 勝	朝野 浩	朝野 浩
桂坂保育所	所長											長井妙子
桂坂児童館	館長											小倉恵美子
洛西ふれあいの里 保養研修センター	館長						森田久男	森田久男	山口英太郎	山口英太郎	山口英太郎	山口英太郎
洛西ふれあいの里授産園	園長	鈴木雅己	鈴木雅己	鈴木雅己	鈴木雅己	鈴木雅己	生嶋武文	山本喜一	山本喜一	高田 功	高田 功	伊藤正子
療護園	園長	谷角慶之	谷角慶之	谷角慶之	谷角慶之	谷角慶之	谷角慶之	森井和子	森井和子	森井和子	森井和子	高田 功
更生園	園長				那須徹朗	那須徹朗	那須徹朗	那須徹朗	那須徹朗	那須徹朗	那須徹朗	那須徹朗
特別養護老人ホーム杏掛寮	施設長	安田 穰	安田 穰	安田 穰	安田 穰	河本昌之	河本昌之	河本昌之	河本昌之	太田嘉繼	太田嘉繼	太田嘉繼
平安講社	学区代表			湯浅 忍	湯浅 忍	菊池潤治	菊池潤治	佐野正次	道端 進	道端 進	梶田 博	梶田 博

桂坂学区創立10周年記念事業実行委員会

顧問	湯浅 忍・佐川 公也・糺田 博
相談役	松尾 隆夫・酒井 厚・上久保潤次郎
委員長	菊池 潤治
副委員長	田畑 昭三・川上 惇・石塚 毅・加藤 貞雄・片山 健次・山田まゆみ・細川 和子
事務局長	鈴木 文雄・(補佐) 下川智恵子・早川美登里・谷口 和子
会計	細谷 修三・日比野俊之
会計監査	植村 淳二・柳原 徹
理事	中谷 敏清・藤堂 喜正・基太村博美・梶間 俊郎・湯浅 仁司・布本 和久・前田 富造 伊藤 一男・山口 和枝・中崎千嘉子・野洲 寿子・中川マスコ・井ノ崎重美・西 升美 濱松 千秋
学識経験者	桂坂小学校校長 角垣 健美・桂坂小学校教頭 赤羽 清・桂坂小学校教務主任 市場 良祐

[専門部会]

記念式典部会	部会長 川上 惇 副部会長 鈴木 文雄・細川 和子 部会員 日比野俊之・下川智恵子・早川美登里・谷口 和子・山奥由美子
記念誌部会	部会長 加藤 貞雄 副部会長 西 升美・井ノ崎重美 部会員 牧野美佐子・竹中 淑子・井出 信子・鎌屋まゆみ・北川 昌子・中山壽々恵・西村 寿子・ 門西 聡子・岡村 玲子・宮下 眞純
体育部会	部会長 布本 和久 副部会長 鈴木 晃司 部会員 谷口 栄一・船越 彰・細川 和明・山本 孝子
文化部会	部会長 細谷 修三 副部会長 中崎千嘉子・山本 昭・長岡 香・喜多みどり・藤井 正子 部会員 木村 義成・福田 敏子・青井 勇・細田 英子・別所紀代子・藤田 満江・水谷 洋子
環境美化部会	部会長 堤 信彦 副部会長 森口はつ美
交通安全部会	部会長 伊藤 一男 副部会長 中川 優
交通婦人部会	部会長 戸田 晴子 副部会長 原田 安子
自治会イベント部会	部会長 石塚 毅 副部会長 中谷 敏清・藤堂 喜正 部会員 阪本 健・堤 信彦・森口はつ美・永富 進・中西 康人・若山 勝幸・須磨 純司・ 小原 康廣・知念 章・伊藤 光男
消防団器具庫・自治会館 建設推進部会	部会長 川上 惇 副部会長 湯浅 仁司 部会員 菅原 正幸・後藤 昭七・近藤 浩之・青山 俊夫・木田 孝一・五十嵐幸夫・前田 富造・ 西村 律子・佐川 早苗

[参与]

国際日本文化研究センター所長	河合 隼雄	株式会社 西洋環境開発桂坂事業所所長	西明 義雄
京都労働者住宅生活協同組合顧問	岩本 致二		
ふれあいの里保養研修センター ふれあい会館館長	山口英太郎		
ふれあいの里運営本部長・療護園園長	高田 功	ふれあいの里授産園園長	伊藤 正子
ふれあいの里更生園園長	那須 徹朗	特別養護老人ホーム沓掛寮施設長	太田 嘉継
桂坂保育所所長	長井 妙子	桂坂児童館館長	小倉恵美子
西養護学校校長	朝野 浩	大枝中学校校長	朽木 長綱

(敬称略順不同)

過年度の記念事業実行委員 (順不同)

立野 和之	永江 望昭	木ノ下勝巳	小松 悦子	平手 謹一	北川 薫	西村 明	千頭 宗子
高矢 順子	西村 敏恵	柳原 早苗	岩本 年子	松村ミドリ	琴浦 良子	大林 春子	乾 忠義
岡 頼男	城下 賢司	丸橋 晴代	岡本多美子	福田 良子	西澤 治雄	中川 章	新井 健之
三谷 成嘉	細川由美子	中村 良子	池田 一照	中倉 勇二	熊倉 光雄	南郷 美紀	池田 良一
柄本 憲秀							

編集協力者

東公子・石田真美子・稲津誠之・大野恵子・岡本洋均・片山悦子・五島良子・塩見敦子
永富進・藤原仁美・船野智津子・細谷東喜子・細谷修三・山田まゆみ・山根博幸

資料・写真提供

青井勇・大西功・大西忠男・片山治之（元朝日新聞デザイン部）・坪内孝二・藤本武・松尾隆夫・山の手倶楽部・山本昭・湯浅忍

大枝中学校・桂坂小学校・西養護学校・桂坂社会福祉協議会・特別養護老人ホーム沓掛寮・ふれあい会館・ふれあいの里（授産園・療護園・更生園）

京都新聞社・国土地理院・西洋環境開発・住宅生協

【付記】 28頁の地図2葉は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図（旧版）を複製したものです。（承認番号 平12近複 第139号）

桂坂小学校編

桂坂小学校創立10周年記念PTA実行委員兼記念誌編集委員

角垣健美（学校長）・赤羽清（教頭）・市場良祐（教務主任）

片山健次（委員長）・千頭宗子（副委員長）・西升美（副委員長）・稲垣恵子（庶務）

市場けい子（会計）・浜松千秋・門西聡子・岡村玲子・高矢順子・岸波直美・蛭田敬子

木村桂子・早藤真里・琴浦良子・中島順子

編集協力者

今崎文弥・十川修一・緩詰健二・吉見忠郎・山本直樹・岩井早苗・西川裕子（以上、現教職員）

中西一孝・寺内敦子・村田喬子（以上、歴代校長）

山本哲夫・北川薫・平手謹一（以上、歴代PTA会長）

岩淵信明・早川雅雄・小林孝二・木村純一・三宅貞志・和田英明・上坊由美子

福田昌史・清水君子（以上、旧教職員）

佐野幸夫・松尾隆夫・入江秀子・渡辺秀子・北風一恵・中谷洋道・安井公子・西田房江

一宮まり子・西村清子・谷本百合子・箕田江里・小出麻由美・谷口千絵・柴田さや香

資料提供

京都新聞社・小学館・日活・虫プロ・株式会社ワールドカラー

〈敬称略〉

編集後記

創立後わずか10年の新しい学区・小学校とはいえ、この「桂坂」は、時間と空間の両面からひとつの大きなまとまりとして把えるには、やはり私たちの手に余る存在でした。

窮余の一策として無知なるを大切な拠り所に、未知の「桂坂」に向かいました。学区・学校の来歴をたづねるに際しては遺された資料や先達の言に感謝し、現況を知るには、緑と起伏に富む「桂坂」を巡り歩き、また、老若男女、ここに住み、働く人たちの動静、片言隻句に気を配りました。

こうして私たちは、草創期から10年に亙る「桂坂」の足跡を、「後の葉（よ）に流（つた）へん」ことを目的に記念誌を作成しました。この小誌が、後々の「桂坂」の発展のために、ささやかな捨石にでもなれば幸いです。

作成にあたっては、多くの方より教示助言を頂戴し、貴重な資料・写真など提供いただきました。また、煩わしい編集校正の作業にも、大勢の方に多忙の時間を割いて携わっていただきました。厚く御礼申し上げます。

ご芳名を上記して感謝の意を表する次第です。

記念誌部会

部会長 加藤貞雄 副部会長 西升美(PTA) 井ノ崎重美

部会員 牧野美佐子 竹中俣子 井出信子 鎌屋まゆみ 北川昌子

中山壽々恵 西村寿子 門西聡子(PTA) 岡村玲子(PTA)

宮下真純

発行

2000(平成12)年6月

編集

記念誌部会

桂坂小学校PTA

発行者

桂坂学区創立10周年

記念事業実行委員会

京都市立桂坂小学校

桂坂小学校PTA

印刷

株式会社 大気堂